

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース (為替ヘッジあり) (野村SMA・EW向け)	Bコース (為替ヘッジなし) (野村SMA・EW向け)
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2017年8月25日から2028年2月25日までです。	
運用方針	ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンドへの投資を通じて、主として世界各国の株式等へ実質的に投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。なお、CAマネーブルファンド (適格機関投資家専用) への投資も行います。	
	原則として外貨建資産の為替ヘッジを行い、為替リスクの低減を図ります。	原則として外貨建資産の為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	ワールド・バリュース・アロケーション	ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド CAマネーブルファンド (適格機関投資家専用)
	ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド	世界各国の株式等
	CAマネーブルファンド (適格機関投資家専用)	本邦通貨表示の短期公社債
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。	
分配方針	毎決算時 (年1回、原則毎年12月6日。休業日の場合は翌営業日) に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

ワールド・バリュース・アロケーション
Aコース (為替ヘッジあり)
(野村SMA・EW向け) /
Bコース (為替ヘッジなし)
(野村SMA・EW向け)

運用報告書 (全体版)

第7期 (決算日 2023年12月6日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号

お客様サポートライン：050-4561-2500

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで
ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

< 3285726・3320799 >

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率			
	円	円	%	%	%	百万円
3期（2019年12月6日）	10,405	0	7.8	0.0	97.4	969
4期（2020年12月7日）	11,073	0	6.4	0.0	95.7	953
5期（2021年12月6日）	11,908	0	7.5	0.0	99.2	1,313
6期（2022年12月6日）	11,087	0	△6.9	0.0	94.6	1,713
7期（2023年12月6日）	11,314	0	2.0	0.0	96.3	1,593

（注）当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

■当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率
	円	騰落率		
(期首)	円	%	%	%
2022年12月6日	11,087	—	0.0	94.6
12月末	11,025	△0.6	0.0	95.7
2023年1月末	11,613	4.7	0.0	95.2
2月末	11,289	1.8	0.0	99.5
3月末	11,390	2.7	0.0	96.3
4月末	11,556	4.2	0.0	100.4
5月末	11,289	1.8	0.0	102.9
6月末	11,606	4.7	0.0	101.2
7月末	11,903	7.4	0.0	97.2
8月末	11,603	4.7	0.0	100.2
9月末	11,090	0.0	0.0	100.1
10月末	10,769	△2.9	0.0	99.2
11月末	11,333	2.2	0.0	96.0
(期末)				
2023年12月6日	11,314	2.0	0.0	96.3

（注）騰落率は期首比です。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰落 中率			
	円	円	%	%	%	百万円
3期（2019年12月6日）	10,873	0	6.9	0.0	96.6	2,452
4期（2020年12月7日）	11,210	0	3.1	0.0	97.1	2,221
5期（2021年12月6日）	13,092	0	16.8	0.0	96.3	2,409
6期（2022年12月6日）	15,052	0	15.0	0.0	97.4	3,254
7期（2023年12月6日）	17,465	0	16.0	0.0	98.4	4,666

（注）当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

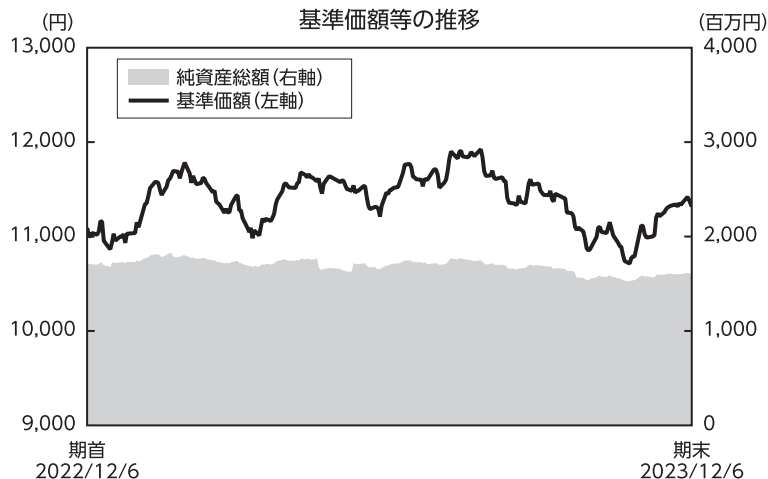
■当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率
		騰落率		
(期首)	円	%	%	%
2022年12月6日	15,052	—	0.0	97.4
12月末	14,598	△ 3.0	0.0	97.3
2023年1月末	15,127	0.5	0.0	98.1
2月末	15,419	2.4	0.0	97.9
3月末	15,327	1.8	0.0	98.5
4月末	15,691	4.2	0.0	98.9
5月末	16,047	6.6	0.0	98.9
6月末	17,172	14.1	0.0	98.6
7月末	17,230	14.5	0.0	98.2
8月末	17,487	16.2	0.0	98.5
9月末	17,184	14.2	0.0	98.9
10月末	16,776	11.5	0.0	98.6
11月末	17,457	16.0	0.0	98.4
(期末)				
2023年12月6日	17,465	16.0	0.0	98.4

（注）騰落率は期首比です。

■ワールド・バリュー・アロケーション Aコース（為替ヘッジあり）（野村SMA・EW向け） ■
【基準価額等の推移】

第7期首	11,087円
第7期末	11,314円
既払分配金 （税込み）	0円
騰落率	2.0%



【基準価額の主な変動要因】

上昇要因

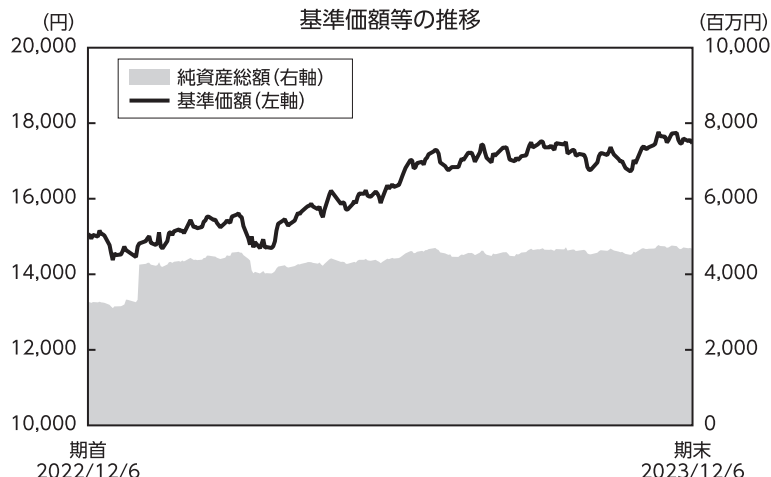
- ① 2023年3月以降8月にかけて、インフレ鎮静化やF R B（米連邦準備理事会）による利上げサイクル終了が期待されたこと、および欧州で好調な経済指標が確認されたことなどを背景に、株式市場が上昇したこと
- ② 2023年11月に米国や英国で政策金利が据え置かれ、利上げ停止への期待が高まったこと
- ③ 2023年10月上旬から期末にかけて金価格が上昇したこと

下落要因

- ① 2023年2月から3月にかけて、金融引き締め長期化への懸念や米国や欧州の銀行の信用不安等を背景に株式市場が下落したこと
- ② 2023年9月中旬から10月下旬にかけて、米欧での利上げ継続により金融引き締め局面の長期化が懸念されたことや、米国長期金利の上昇や中東における地政学的リスクの高まりが嫌気されたこと
- ③ 2023年2月および5月から10月初旬にかけて金価格が下落基調となったこと

■ワールド・バリュー・アロケーション Bコース（為替ヘッジなし）（野村SMA・EW向け） ■
【基準価額等の推移】

第7期首	15,052円
第7期末	17,465円
既払分配金 （税込み）	0円
騰落率	16.0%



【基準価額の主な変動要因】

上昇要因

- ① 2023年3月以降8月にかけて、インフレ鎮静化やFRB（米連邦準備理事会）による利上げサイクル終了が期待されたこと、および欧州で好調な経済指標が確認されたことなどを背景に、株式市場が上昇したこと
- ② 2023年11月に米国や英国で政策金利が据え置かれ、利上げ停止への期待が高まったこと
- ③ 2023年10月上旬から当期末にかけて金価格が上昇したこと
- ④ 当期を通じて為替市場において米ドル高・円安となったこと

下落要因

- ① 2023年2月から3月にかけて、金融引き締め長期化への懸念や米国や欧州の銀行の信用不安等を背景に株式市場が下落したこと
- ② 2023年9月中旬から10月下旬にかけて、米欧での利上げ継続により金融引き締め局面の長期化が懸念されたことや、米国長期金利の上昇や中東における地政学的リスクの高まりが嫌気されたこと
- ③ 2023年2月および5月から10月初旬にかけて金価格が下落基調となったこと
- ④ 期初から2022年末にかけて、2023年3月、そして6月末から7月半ばにかけて為替市場において米ドル安・円高となったこと

【投資環境】

＜世界株式市場＞

当期の世界株式市場は、値動きをとめないながら推移し、前期末比では上昇して期末を迎えました。期初は、米国や欧州の中央銀行の金融引き締め姿勢の長期化や景気後退への懸念、2022年12月下旬の米国長期金利の上昇が嫌気され、株式市場は下落しました。しかし、2023年に入ると、米欧でのインフレピークアウト見通しが強まったことで利上げペースの減速期待が高まり、上昇に転じました。2月には再び金融引き締め長期化への懸念が再燃し、株式市場は下落基調となりました。また、3月に米国で中堅規模の銀行が相次いで破綻し、欧州でのクレディ・スイス・グループへの信用不安から世界的に金融システムへの不安が広がり、不安定な動きとなりましたが、当局の速やかな対応を受け、市場は落ち着きを取り戻りました。その後は、米国でのインフレ率鈍化により、FRBによる利上げサイクル終了が期待され、堅調に推移しました。また欧州でも好調な経済指標が追い風になりました。8月上旬以降は、格付け会社による米国国債の信用格付けの引き下げや米国長期金利の上昇、中国の景気後退懸念等により、下落に転じました。さらに米欧での金融引き締めの長期化懸念が強まったことや、原油価格の上昇への懸念から軟調に推移しました。そして10月も、中国やユーロ圏での経済減速や、中東における地政学的リスクの高まりへの懸念、米国長期金利の上昇、米国でのハイテク株の下落等を背景に、下落基調が続きました。11月に入ると、世界株式市場は3ヵ月ぶりに上昇に転じました。米国でFOMC（米連邦公開市場委員会）において2会合連続で政策金利が据え置かれたこと等から利上げ停止への期待が高まり、株式市場は大幅に反発しました。また欧州でも、利下げへの期待から株式市場は上昇しました。期末にかけてはわずかに下落したものの、反発した11月の水準をおおむね維持したまま当期を終えました。

＜金市場＞

当期の金価格は期を通じて上昇しました。期初から2023年1月にかけては、2023年初以降の米国長期金利の下落などを背景に上昇基調となりました。2月には、米国長期金利の上昇により一時軟調となりましたが、3月上旬にかけて地政学的リスクの高まりやインフレ率の上昇を受け上昇基調となりました。5月以降9月中旬にかけては上げ下げを繰り返し、米国長期金利の上昇などから9月下旬には大きく下落しましたが、10月初旬に中東情勢の混乱などから上昇に転じました。その後は弱含む場面もあったものの、期末にかけては米国長期金利の下落等により再び上昇に転じて期末を迎えました。

＜為替市場＞

当期の米ドル／円相場は、2022年末に日銀が金融政策の修正を発表し、一時円が買われる場面もみられましたが、2023年1月にさらなる日本の金融政策の修正が無かったことから、日本の金利先高観が後退し、再び米ドル優位の展開に戻りました。3月に入り、米国の中堅銀行破綻やクレディ・スイス・グループの経営不安顕在化のニュースを背景に金融システム不安が広がると、質への逃避としての円買いの動きに加え、急激な金利先高観の後退にとめない米ドルは一時売り込まれましたが、金融システム不安が後退すると米ドルは買い戻されました。日銀が金融緩和維持の姿勢を明確に示したことも円安圧力となり、6月末にかけて米ドルは対円で強含みの展開となりました。その後、7月中旬にかけては、米国のインフレ圧力の低下や米景気後退懸念等から、米ドルは一時弱含みました。その後、米ドルは再び上昇に転じましたが、期末にかけては、米国でのインフレ鎮静化の兆しが米金利先高観を後退させ、やや弱含むで当期を終えました。

<日本短期国債市場>

当期の短期国債市場では、日銀によるマイナス金利政策のもと、TDB（国庫短期証券）3ヵ月物利回りがマイナス圏での推移を継続しました。TDB 3ヵ月物利回りは、マイナス圏で-0.10%から-0.20%を中心に推移しましたが、3月下旬に米欧の一部銀行に対する信用不安が発生した局面や、9月末から10月初めにかけて年末越えの担保差入れ需要が高まった局面では一時的に-0.30%近辺までマイナス幅を拡大させました。

【ポートフォリオ】

■Aコース（為替ヘッジあり）（野村SMA・EW向け）

当ファンドは、主として米ドル建のルクセンブルク籍の会社型投資信託である「ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド」と円建の国内籍の投資信託である「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」に投資しました。世界の株式等への実質的な投資は「ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド」を通じて行いました。また、外貨建資産については為替ヘッジを行い為替リスクの低減を図りました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

■Bコース（為替ヘッジなし）（野村SMA・EW向け）

当ファンドは、主として米ドル建のルクセンブルク籍の会社型投資信託である「ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド」と円建の国内籍の投資信託である「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」に投資しました。世界の株式等への実質的な投資は「ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド」を通じて行いました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

<ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド>

当期のファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンドは上昇（米ドルベース）しました。国別では米国、日本、メキシコのプラスの影響が相対的に大きくなりました。セクター別では、コミュニケーション・サービスおよび情報技術のプラスの影響が相対的に大きくなりました。金関連資産もプラスに寄与しました。当期は、株式市場が値動きをともないながら上昇するなか、株価が想定する本源的価値を反映していると判断した銘柄などを売却するとともに、割安と判断できる新たな銘柄を購入しました。

（ファースト イーグル インベストメント マネジメント）

<CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）>

当期、主として12ヵ月以内に償還を迎える地方債への投資により、安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

【分配金】

■Aコース（為替ヘッジあり）（野村SMA・EW向け）

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます（分配原資の内訳につきましては、後記の「分配金のお知らせ」をご覧ください）。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

■Bコース（為替ヘッジなし）（野村SMA・EW向け）

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます（分配原資の内訳につきましては、後記の「分配金のお知らせ」をご覧ください）。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

【今後の運用方針】

■Aコース（為替ヘッジあり）（野村SMA・EW向け）

当ファンドは引き続き、主として米ドル建のルクセンブルク籍の会社型投資信託である「ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド」と円建の国内籍の投資信託である「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」に投資します。また、外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替リスクの低減を図ります。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

■Bコース（為替ヘッジなし）（野村SMA・EW向け）

当ファンドは引き続き、主として米ドル建のルクセンブルク籍の会社型投資信託である「ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド」と円建の国内籍の投資信託である「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」に投資します。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

<ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド>

私たちは、最も深刻な投資のリスクは投資元本の永続的な毀損であり、そのリスクの主たる源泉は割高な証券への投資であると考えます。私たちは、予期せぬ事態が生じて、回復不可能な損失を回避できるよう、十分に割安な水準で投資することを重視し、個別銘柄の株価が私たちの考える本源的価値を十分に下回る場合にのみ、投資します。十分に割安と判断できる投資機会に限られる局面では、無理に投資せずに現金等を保持します。現金等は個別銘柄単位で十分に割安と判断できる投資機会を特定した段階で、投資資金に充当するものと位置付けています。また、予期せぬリスクに対するヘッジ手段、および中長期的に資産の実質的価値の維持を目指す手段として、金関連資産を一定比率保有し続ける方針です。私たちは引き続き、短期的な市場動向や市場予測に頼るのではなく、ボトムアップによる銘柄選択を通じて、競争力を持続できるような質の高い事業や希少な資産を有すると考えられる企業に分散投資することで、米ドルベースで相場環境にかかわらずプラスのリターンを追求し、投資信託財産の長期的な成長を目指した運用を継続する方針です。

（ファースト イーグル インベストメント マネジメント）

<CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）>

安全性重視の観点から、12ヵ月以内に償還を迎える債券への投資により安定的な運用を行います。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第 7 期 (2022年12月7日 ～2023年12月6日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	33円 (25) (4) (4)	0.286% (0.220) (0.033) (0.033)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷 費 用) (そ の 他)	8 (3) (1) (3) (0)	0.070 (0.030) (0.011) (0.029) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	41	0.356	

期中の平均基準価額は11,372円です。

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

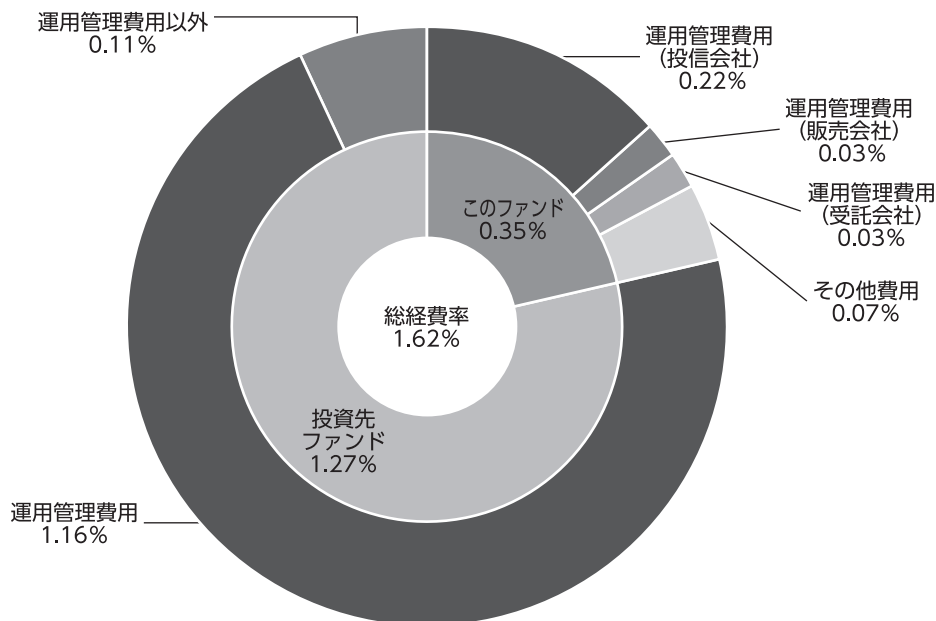
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.62%です。



総経費率 (①+②+③)	1.62%
①このファンドの費用の比率	0.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.16%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.11%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2022年12月7日から2023年12月6日まで）

投資信託受益証券、投資証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外国	（ルクセンブルク）	千口	千米ドル	千口	千米ドル
	ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド	0.735	1,720	1	4,199

（注1）金額は受渡し代金です。

（注2）単位未満は切捨てです。ただし、口数が単位未満の場合は小数で記載しています。

■利害関係人との取引状況等（2022年12月7日から2023年12月6日まで）

(1) 期中の利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
投資信託証券	233	—	—	593	—	—
為替先物取引	17,229	9	0.1	16,904	—	—
為替直物取引	232	—	—	589	9	1.5

(2) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	—千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	—千円
(B) / (A)	—%

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、クレディ・アグリコル銀行です。

■組入資産の明細（2023年12月6日現在）

(1) 国内（邦貨建）投資信託受益証券

銘	柄	期首 (前期末)	当期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
	CAマネープールファンド(適格機関投資家専用)	0.1	0.1	0.1
合計	口数・金額	0.1	0.1	0.1
	銘柄数 <比率>	1	1	<0.0%>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。以下同じ。

(注2) 単位未満は切捨てです。ただし、単位未満の場合は小数で記載しています。

(2) 外国（外貨建）投資証券

銘	柄	期首 (前期末)	当期末		
		口数	口数	評価額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
	(ルクセンブルク)	千口	千口	千米ドル	千円
	ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド	5	4	10,424	1,535,059
合計	口数・金額	5	4	10,424	1,535,059
	銘柄数 <比率>	1	1	—	<96.3%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨てです。

■投資信託財産の構成 (2023年12月6日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 0.1	% 0.0
投 資 証 券	1,535,059	95.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	65,262	4.1
投 資 信 託 財 産 総 額	1,600,321	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。ただし、金額が単位未満の場合は小数で記載しています。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (1,535,280千円) の投資信託財産総額 (1,600,321千円) に対する比率は95.9%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、2023年12月6日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=147.26円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年12月6日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,123,646,985円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	32,636,582
投資信託受益証券(評価額)	100
投資証券(評価額)	1,535,059,109
未 収 入 金	1,555,951,194
(B) 負 債	1,530,107,160
未 払 金	1,523,337,508
未 払 解 約 金	4,013,940
未 払 信 託 報 酬	2,366,043
未 払 利 息	96
そ の 他 未 払 費 用	389,573
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,593,539,825
元 本	1,408,525,528
次 期 繰 越 損 益 金	185,014,297
(D) 受 益 権 総 口 数	1,408,525,528口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,314円

(注記事項)

期首元本額 1,545,502,493円

期中追加設定元本額 331,566,853円

期中一部解約元本額 468,543,818円

■損益の状況

当期 (自2022年12月7日 至2023年12月6日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	40,954円
受 取 利 息	65,266
支 払 利 息	△ 24,312
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	29,963,051
売 買 益	451,709,023
売 買 損	△421,745,972
(C) 信 託 報 酬 等	△ 5,989,293
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	24,014,712
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 325,579
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	161,325,164
(配 当 等 相 当 額)	(153,718,230)
(売 買 損 益 相 当 額)	(7,606,934)
(G) 計 (D+E+F)	185,014,297
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	185,014,297
追 加 信 託 差 損 益 金	161,325,164
(配 当 等 相 当 額)	(153,718,230)
(売 買 損 益 相 当 額)	(7,606,934)
分 配 準 備 積 立 金	61,448,138
繰 越 損 益 金	△ 37,759,005

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。
また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

【分配原資の内訳】

（単位：円・1万口当たり・税込み）

項 目	第7期
	(2022年12月7日～2023年12月6日)
当期分配金	—
(対基準価額比率)	(—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,527

(注1) 「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

(注2) 「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

《お知らせ》

2023年5月30日付で、当ファンドが主要投資対象とする外国籍投資信託「ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド」の成功報酬算出方法を変更いたしました。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第 7 期 (2022年12月7日 ～2023年12月6日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	47円 (36) (5) (5)	0.286% (0.220) (0.033) (0.033)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷 費 用) (そ の 他)	4 (1) (2) (2) (0)	0.027 (0.005) (0.010) (0.011) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	51	0.313	

期中の平均基準価額は16,292円です。

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

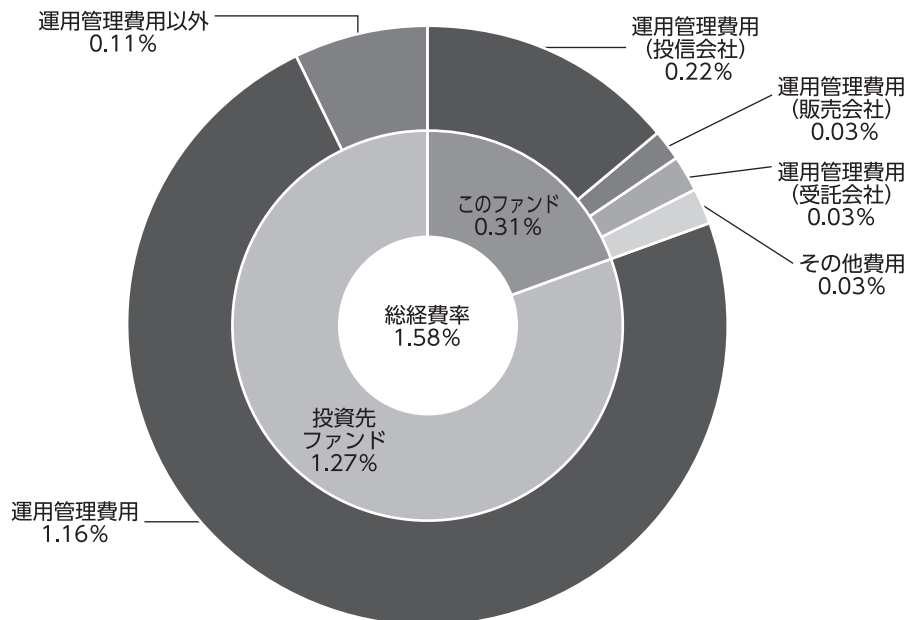
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.58%です。



総経費率 (①+②+③)	1.58%
①このファンドの費用の比率	0.31%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.16%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.11%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2022年12月7日から2023年12月6日まで）

投資信託受益証券、投資証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外国	(ルクセンブルク) ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド	千口 4	千米ドル 9,490	千口 1	千米ドル 3,939

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

■利害関係人との取引状況等（2022年12月7日から2023年12月6日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2023年12月6日現在）

(1) 国内（邦貨建）投資信託受益証券

銘	柄	期 首 (前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
C Aマネープールファンド(適格機関投資家専用)		0.1	0.1	0.1
合 計	口 数・金 額	0.1	0.1	0.1
	銘 柄 数 <比 率>	1	1	<0.0%>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。以下同じ。

(注2) 単位未満は切捨てです。ただし、単位未満の場合は小数で記載しています。

(2) 外国（外貨建）投資証券

銘	柄	期 首 (前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
		千口	千口	千米ドル	千円
(ルクセンブルク) ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド		10	12	31,195	4,593,832
合 計	口 数・金 額	10	12	31,195	4,593,832
	銘 柄 数 <比 率>	1	1	—	<98.4%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨てです。

■投資信託財産の構成 (2023年12月6日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 0.1	% 0.0
投 資 証 券	4,593,832	98.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	92,308	2.0
投 資 信 託 財 産 総 額	4,686,140	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。ただし、金額が単位未満の場合は小数で記載しています。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (4,594,187千円) の投資信託財産総額 (4,686,140千円) に対する比率は98.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、2023年12月6日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=147.26円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年12月6日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	4,686,140,492円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	92,307,531
投資信託受益証券(評価額)	100
投資証券(評価額)	4,593,832,861
(B) 負 債	19,757,706
未 払 解 約 金	12,628,633
未 払 信 託 報 酬	6,579,029
未 払 利 息	274
そ の 他 未 払 費 用	549,770
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	4,666,382,786
元 本	2,671,853,308
次 期 繰 越 損 益 金	1,994,529,478
(D) 受 益 権 総 口 数	2,671,853,308口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,465円

(注記事項)

期首元本額 2,162,138,456円

期中追加設定元本額 1,116,539,508円

期中一部解約元本額 606,824,656円

■損益の状況

当期 (自2022年12月7日 至2023年12月6日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	30,344円
受 取 利 息	96,403
支 払 利 息	△ 66,059
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	636,487,677
売 買 益	665,445,374
売 買 損	△ 28,957,697
(C) 信 託 報 酬 等	△ 13,625,171
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	622,892,850
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	477,872,804
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	893,763,824
(配 当 等 相 当 額)	(584,851,325)
(売 買 損 益 相 当 額)	(308,912,499)
(G) 計 (D+E+F)	1,994,529,478
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	1,994,529,478
追 加 信 託 差 損 益 金	893,763,824
(配 当 等 相 当 額)	(584,851,325)
(売 買 損 益 相 当 額)	(308,912,499)
分 配 準 備 積 立 金	1,100,765,654

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。
- また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

【分配原資の内訳】

（単位：円・1万口当たり・税込み）

項 目	第7期
	(2022年12月7日～2023年12月6日)
当期分配金	—
(対基準価額比率)	(—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,464

(注1) 「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

(注2) 「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

《お知らせ》

2023年5月30日付で、当ファンドが主要投資対象とする外国籍投資信託「ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド」の成功報酬算出方法を変更いたしました。

ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド

決算日 2023年2月28日

(計算期間：2022年3月1日～2023年2月28日)

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに委託会社が翻訳・抜粋・作成しています。なお、開示情報につきましては各クラス別の情報がないため、全てのシェアクラスを含むファンド全体の情報を開示しています。

■費用の明細 (2022年3月1日～2023年2月28日)

項目	当期
	米ドル
(a)運用報酬	97,023,933
(b)成功報酬	2,537
(c)管理費用等	7,632,240
(d)その他の費用	4,968,702
合計	109,627,412

■純資産計算書 (2023年2月28日現在)

項目	当期末
	米ドル
資産合計	5,551,079,289
有価証券	5,141,534,814
預金	399,426,276
未収利息	1,371,868
未収配当金	5,049,329
有価証券売却未収入金	799,697
未収追加設定金	2,897,287
為替未収入金	18
負債合計	47,280,190
有価証券買付未払金	1,598,584
未払解約金	6,824,131
為替予約取引評価勘定	10,419,418
未払運用報酬	16,243,051
その他の負債	12,195,006
純資産	5,503,799,099

■ 有価証券明細 (2023年2月28日現在)

数量	評価額 米ドル	数量	評価額 米ドル
株式	4,458,682,804	日本	423,879,355
オーストラリア	18,724,466	183,150 CHOFU SEISAKUSHO	2,843,756
1,231,865 NEWCREST MINING	18,724,466	330,500 FANUC LTD	56,217,637
ベルギー	70,875,112	150,527 HIROSE ELECTRIC	18,399,403
840,440 GROUPE BRUXELLES LAMBERT	70,875,112	745,700 HOSHIZAKI CORP	26,414,145
バミューダ	83,675,065	33,140 KEYENCE CORP	14,327,458
1,783,690 GUOCO GRP	16,133,755	915,800 KOMATSU LTD	21,917,617
4,818,500 HONGKONG LAND HOLDINGS	22,020,545	3,084,500 MITSUBISHI ELECTRIC CORP	34,713,789
919,240 JARDINE MATHESON HOLDINGS	45,520,765	2,735,390 MITSUBISHI ESTATE CO LTD REIT	34,048,042
ブラジル	68,065,722	1,440,125 MS AD ASSURANCE	47,068,508
17,617,225 AMBEV SP ADS	44,923,924	926,390 SECOM CO LTD	53,883,848
14,679,992 ITAUSA SA	23,141,798	211,290 SHIMANO	32,907,665
カナダ	270,714,999	57,374 SMC CORP	29,105,044
313,879 AGNICO EAGLE MINES	14,487,788	971,680 SOMPO HOLDINGS SHS	41,652,093
2,389,379 BARRICK GOLD CORPORATION	38,742,656	335,294 THASEGAWA	7,224,520
119,713 FRANCO NEVADA	15,380,995	194,600 USS	3,155,830
1,508,952 IMPERIAL OIL	74,780,741	メキシコ	68,206,831
511,643 NUTRIEN LTD	39,875,535	645,253 FOMENTO ECONOMICO MEXICANO SA DE CV	59,311,656
1,601,200 POWER CORP OF CANADA	42,822,291	FEMSAADR	
1,067,732 WHEATON PRECIOUS METALS CORP	44,624,993	751,032 INDUSTRIAS PENOLES SA DE CV	8,895,175
ケイマン諸島	77,839,666	オランダ	57,894,731
4,203,760 ALIBABA GROUP HOLDING LTD	46,324,608	41,247 HEINEKEN HOLDING NV	3,540,951
5,028,000 CK ASSET HOLDINGS LTD	31,515,058	754,608 PROSUS N V	54,353,780
キュラソー	136,015,189	ノルウェー	13,902,454
2,556,196 SLB	136,015,189	2,057,240 ORKLAASA	13,902,454
フランス	213,646,292	韓国	58,114,464
1,295,976 DANONE SA	73,172,127	56,706 FURSYS	1,294,178
253,597 LEGRAND	23,559,111	122,113 HYUNDAI MOBIS	19,610,061
17,520 LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	14,659,588	26,740 LOTTE CONFECTIONERY CO LTD	2,428,980
483,269 SANOFI	45,556,727	145,572 LOTTE CORP	3,371,836
428,270 SODEXO	39,849,783	74,509 NAVER CORP	11,740,130
147,793 WENDEL ACT	16,848,956	487,404 SAMSUNG ELECTRONICS PREF SHS	19,669,279
ドイツ	48,522,059	スウェーデン	56,113,407
154,712 BRENNTAG AG	11,714,746	1,934,014 INVESTOR AB	37,572,858
504,323 HENKEL KGAA VZ PFD	36,807,313	1,740,337 SVENSKA HANDELSBANKEN AB	18,540,549
香港	8,308,791	スイス	182,473,468
2,624,543 HYSAN DEVELOPMENT CO -H-	8,308,791	607,254 CIE FINANCIERE RICHMONT SA	91,841,630
アイルランド	116,145,604	370,650 NESTLE SA	41,951,129
438,243 CRH PLC	20,690,968	215,827 SCHINDLER HOLDING PS	48,680,709
207,678 MEDTRONIC PLC	17,195,738	台湾	51,789,758
333,926 WILLIS TOWERS — SHS	78,258,898	594,806 TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	51,789,758
		タイ	29,524,212
		6,381,790 BANGKOK BANK (NVDR)	29,524,212
		イギリス	256,376,750
		910,689 FRESNILLO PLC-W/I	8,416,928
		939,927 GSK PLC	16,220,425

数量	評価額 米ドル	数量	評価額 米ドル
8,548,226	HALEON PLC	33,319,293	
58,859,440	LLOYDS BANKING GROUP PLC	37,497,156	
595,578	RECKITT BENCKISER GROUP PLC	41,547,343	
801,017	THE BERKELEY GROUP HOLDINGS PLC	40,691,956	
1,571,925	UNILEVER PLC	78,683,649	
	アメリカ	2,147,874,409	
342,680	ALPHABET INC A	30,861,761	
536,542	ALPHABET INC C	48,449,743	
256,878	AMERICAN EXPRESS CO	44,645,396	
333,219	ANALOG DEVICES INC	61,135,690	
1,389,330	BANK OF NEW YORK MELLON CORP	70,647,431	
147,428	BECTON DICKINSON CO	34,579,237	
109	BERKSHIRE HATHAWAY A	50,521,500	
318,970	BOSTON PROPERTIES INC REIT	20,886,156	
413,431	BROWN BROWN	23,181,076	
917,023	C.H. ROBINSON WORLDWIDE	91,665,619	
348,751	CHARLES SCHWAB CORP	27,174,678	
890,961	COLGATE PALMOLIVE CO	65,307,441	
2,796,492	COMCAST CLASS A	103,945,608	
203,239	CUMMINS INC	49,376,915	
47,978	DEERE CO	20,114,297	
818,101	DENTSPLY INTERNATIONAL INC	31,145,105	
1,138,255	DOUGLAS EMMET	16,083,543	
134,967	DR HORTON INC	12,481,748	
158,320	ELEVANCE HEALTH INC	74,358,154	
660,620	EQUITY RESIDENTIAL REIT	41,301,962	
263,062	EXPEDIT INTL WASH	27,505,763	
1,199,526	EXXON MOBIL CORP	131,576,007	
170,406	FIDELITY NATIONAL FINANCIAL CLASSE A	6,792,383	
198,689	FIDELITY NATIONAL INFORM SVCS	12,579,001	
1,041,399	FLOWSERVE CORP	36,126,131	
375,990	HCA HEALTHCARE RG REGISTERED SHS	91,534,766	
367,039	IPG PHOTONICS	45,233,886	
646,955	KRAFT HEINZ CO/THE	25,192,428	
500,374	META PLATFORMS INC	87,535,428	
189,231	MICROSOFT CORP	47,197,996	
1,035,978	NEWMONT CORPORAION	45,179,001	
3,481,834	NOV INC	76,182,528	
1,843,158	ORACLE CORP	161,092,009	
114,106	PPG INDUSTRIES INC	15,068,838	
320,273	ROSS STORES INC	35,402,977	
190,627	ROYAL GOLD INC	22,644,581	
21,041	RPM INTERNATIONAL INC	1,864,864	
192,117	SALESFORCE.COM	31,432,262	
293,923	TEXAS INSTRUMENTS	50,393,098	
111,354	TRAVELERS COMPANIES INC	20,613,852	
801,639	UGI CORP	29,845,020	
65,339	UNION PACIFIC CORP	13,543,468	
410,310	UNIVERSAL HEALTH SERVICES B	54,805,107	
873,288	US BANCORP USD (ISIN US9029733048)	41,682,036	
165,523	WALMART INC	23,525,784	
815,627	WELLS FARGO CO	38,130,562	
1,243,151	WEYERHAEUSER CO REIT	38,848,469	
		279,412	W.R.BERKLEY CORP.
			18,483,104
			債券
			66,517,830
			コロンビア
			10,843,949
		68,645,900,000	COLOMBIA 5.75% 03/11/2027
			10,843,949
			インドネシア
			8,970,377
		133,839,000,000	INDONESIA 8.375% 15/03/2024
			8,970,377
			メキシコ
			23,698,494
		1,163,100	MEXICO 10.00% 05/12/2024
		1,981,500	MEXICO 5.75% 05/03/2026
		1,492,100	MEXICO 8.00% 07/12/2023
			6,234,855
			9,540,725
			7,922,914
			ペルー
			9,598,339
		35,203,000	PERU 8.20% 144A 12/08/2026
			9,598,339
			韓国
			13,406,671
		18,964,640,000	KOREA 1.25% 10/03/2026
			13,406,671
			投資証券
			516,704,245
			アイルランド
			367,037,265
		3,013,644	AMUNDI PHYSICAL GOLD ETC
		4,166,427	ISHARES PHYSICAL GOLD ETC
			218,733,296
			148,303,969
			ジャージー
			149,666,980
		848,308	DB PHYSICAL GOLD ETC
			149,666,980
			債券
			99,629,935
			アメリカ
			99,629,935
		50,000,000	USA T-BILLS 0% 02/03/2023
		50,000,000	USA T-BILLS 0% 27/04/2023
			49,994,000
			49,635,935
			合計
			5,141,534,814

CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）

運用報告書

《第16期》

決算日：2023年2月15日

（計算期間：2022年2月16日～2023年2月15日）

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに、期中の運用状況についてご報告申し上げます。

■投資対象ファンドの概要

運用方針	主として本邦通貨表示の短期公社債に投資し、安定した収益の確保をめざして運用を行うとともに、あわせてコール・ローンなどで運用を行うことで流動性の確保を図ります。
主要運用対象	本邦通貨表示の短期公社債を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

■最近5期の運用実績

決算期	基 準 価 額	税 込 配 分 金		債 券 組 入 率 比	純 資 産 額
		円	円		
12期（2019年2月15日）	円 10,055	円 0	% △0.1	% 59.0	百万円 763
13期（2020年2月17日）	10,048	0	△0.1	61.1	788
14期（2021年2月15日）	10,042	0	△0.1	64.6	773
15期（2022年2月15日）	10,035	0	△0.1	70.8	552
16期（2023年2月15日）	10,027	0	△0.1	74.3	473

（注）当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

■ 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 率
		騰 落	率	
(期 首) 2022年 2月15日	円 10,035		% —	% 70.8
2月末	10,035		0.0	72.7
3月末	10,034		△0.0	70.4
4月末	10,033		△0.0	72.0
5月末	10,033		△0.0	76.0
6月末	10,033		△0.0	71.3
7月末	10,033		△0.0	71.8
8月末	10,032		△0.0	71.7
9月末	10,031		△0.0	71.8
10月末	10,031		△0.0	72.0
11月末	10,028		△0.1	77.3
12月末	10,024		△0.1	67.3
2023年 1月末	10,026		△0.1	70.8
(期 末) 2023年 2月15日	10,027		△0.1	74.3

(注) 騰落率は期首比です。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第16期 (2022年 2月16日 ～2023年 2月15日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	1円	0.011%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投 信 会 社）	(1)	(0.009)	委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(0)	(0.001)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(0)	(0.002)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.007	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（そ の 他）	(1)	(0.007)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	2	0.018	

期中の平均基準価額は10,031円です。

- (注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 売買及び取引の状況 (2022年2月16日から2023年2月15日まで)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	地方債証券	724,687	100,031 (660,000)

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれておりません。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 主要な売買銘柄 (2022年2月16日から2023年2月15日まで)

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
		千円	
第128回共同発行市場公募地方債	251,715	第715回東京都公募公債	100,031
第116回共同発行市場公募地方債	150,919		
第715回東京都公募公債	120,642		
第375回大阪府公募公債(10年)	100,821		
平成24年度第13回愛知県公募公債(10年)	100,590		

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれておりません。

(注2) 国内の現先取引によるものは含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2022年2月16日から2023年2月15日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細 (2023年2月15日現在)

公社債

(A) 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区分	当			期				末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率					
					5年以上	2年以上	2年未満			
	千円	千円	%	%	%	%	%			
地方債証券	350,000 (350,000)	351,667 (351,667)	74.3 (74.3)	—	—	—	—	74.3 (74.3)		
合計	350,000 (350,000)	351,667 (351,667)	74.3 (74.3)	—	—	—	—	74.3 (74.3)		

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) 一印は組入れなしです。

(注4) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(B) 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種類	銘柄	当			期			償還年月日
		利率	額面金額	評価額	利率	額面金額	評価額	
		%	千円	千円	%	千円	千円	
地方債証券	第375回大阪府公募公債(10年)	0.835	100,000	100,435	0.66	250,000	251,232	2023/8/29
	第128回共同発行市場公募地方債							2023/11/24
合計			350,000	351,667				

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。

■投資信託財産の構成 (2023年2月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	351,667	74.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	121,795	25.7
投 資 信 託 財 産 総 額	473,462	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨てです。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2023年2月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	473,462,230円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	120,619,388
公 社 債(評価額)	351,667,500
未 収 利 息	667,316
前 払 費 用	508,026
(B) 負 債	73,719
未 払 信 託 報 酬	67,433
未 払 利 息	346
そ の 他 未 払 費 用	5,940
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	473,388,511
元 本	472,090,843
次 期 繰 越 損 益 金	1,297,668
(D) 受 益 権 総 口 数	472,090,843口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D)	10,027円

(注記事項)

期首元本額	550,147,769 円
期中追加設定元本額	168,597,032 円
期中一部解約元本額	246,653,958 円

■損益の状況

当期 自2022年2月16日 至2023年2月15日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	2,428,904円
受 取 利 息	2,536,785
支 払 利 息	△ 107,881
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 2,670,152
売 買 益	364,823
売 買 損	△ 3,034,975
(C) 信 託 報 酬 等	△ 111,094
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 352,342
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 506,244
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,156,254
(配 当 等 相 当 額)	(14,497,773)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△12,341,519)
(G) 計 (D+E+F)	1,297,668
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	1,297,668
追 加 信 託 差 損 益 金	2,156,254
(配 当 等 相 当 額)	(14,497,773)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△12,341,519)
分 配 準 備 積 立 金	6,399,260
繰 越 損 益 金	△ 7,257,846

(注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。